



令和2年7月豪雨から2年 巡回パネル展

巡回パネル展 2022年 7月4日(月) ～ 8月19日(金)

市町村	会場	開催期間
山形県	山形県生涯学習センター遊学館 2階ギャラリー	7月 5日(火)～7月15日(金)
山形県	村山総合支庁	7月12日(火)～7月29日(金)
山形県	村山総合支庁 西村山地域振興局	7月 4日(月)～7月29日(金)
山形県	村山総合支庁 北村山地域振興局	7月 4日(月)～7月29日(金)
山形県	置賜総合支庁	7月 4日(月)～7月15日(金)
山形県	置賜総合支庁 西置賜地域振興局	7月 4日(月)～7月29日(金)
水シンポジウム	山形テルサ 1階・2階テルサホール脇ホワイエ	7月21日(木)
大江町	大江町中央公民館	7月 4日(月)～7月14日(木)
大石田町	大石田町民交流センター「虹のプラザ」	7月 4日(月)～7月15日(金)
尾花沢市	尾花沢市民図書館	7月 4日(月)～7月15日(金)
新庄市	最上広域交流センターゆめりあ	7月25日(月)～8月 5日(金)
村山市	村山市役所 市民ホール	7月25日(月)～8月 5日(金)
大蔵村	大蔵村中央公民館 1階ロビー	7月25日(月)～8月 5日(金)
中山町	中山町立図書館「ほんわ館」1階ギャラリー、談話室	7月26日(火)～8月 5日(金)
東根市	イオン東根店 1階サイゼリア前テナント区画	8月 8日(月)～8月19日(金)
河北町	河北町役場 1階町民ホール	8月 8日(月)～8月19日(金)
戸沢村	戸沢村役場	8月 8日(月)～8月19日(金)
舟形町	舟形町役場 庁舎玄関ホール	8月 8日(月)～8月19日(金)

主催：最上川流域治水協議会

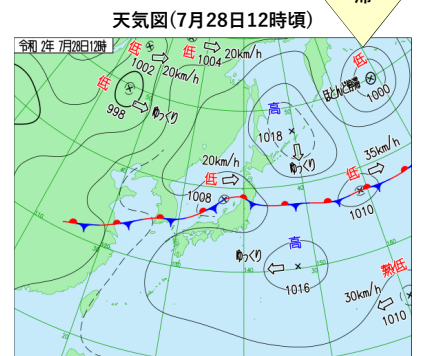
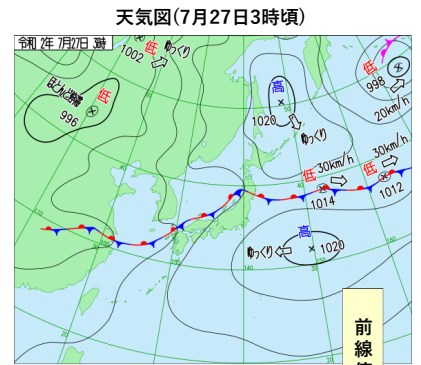
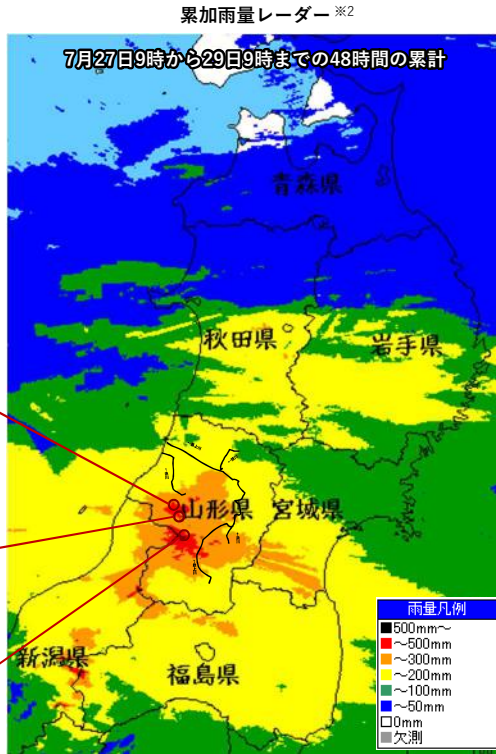
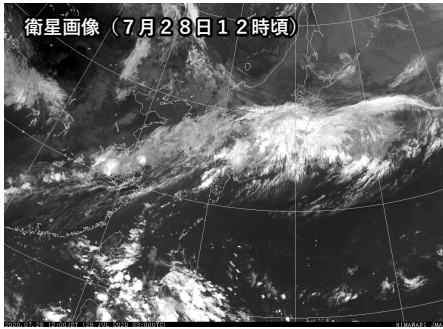
山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上市市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町、三川町、庄内町、遊佐町、最上広域市町村圏事務組合、農林水産省、東北森林管理局、森林整備センター、山形地方气象台、最上川中流土地改良区、上市市土地改良区、東北電力株式会社、山形県、国土交通省

最上川流域に
大きな被害を
もたらした

令和2年7月豪雨から2年

県内各地で記録的な大雨を記録

前線及び低気圧の影響により7月27日から、山形県と秋田県を中心に非常に激しい降雨となり、累加雨量は多いところで**300mmを超過**しました。山形県の湯殿山雨量観測所(国交省所管)では、累加雨量**280mm**を観測するなど、例年7月の降雨量が2日間で降り**既往最大**を記録しました。



湯殿山 (国交省) ※
: **280 mm**

(赤川水系梵字川__山形県鶴岡市)
※例年7月の降雨量 (270mm) の1.1倍の雨が2日間で降った
既往最大を更新

志津 (国交省) ※
: **288 mm**

(最上川水系寒河江川__山形県西村山郡西川町)
※例年7月の降雨量 (261mm) の1.1倍の雨が2日間で降った

白暮沢 (国交省) ※
: **302 mm**

(最上川水系寒河江川__山形県西村山郡西川町)
※例年7月の降雨量 (377mm) の約8割の雨が2日間で降った

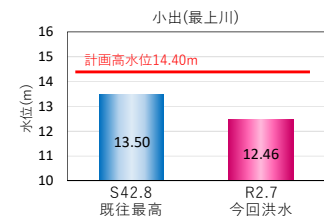
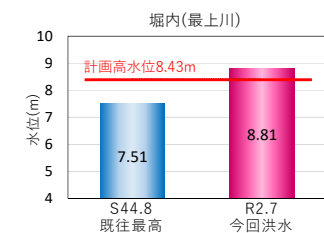
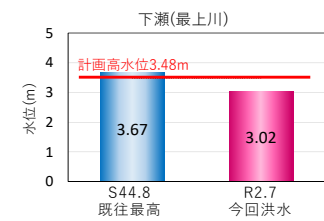
※2 累加レーダー雨量図は統一河川情報システムより

※ 天気図、衛星画像は気象庁資料より

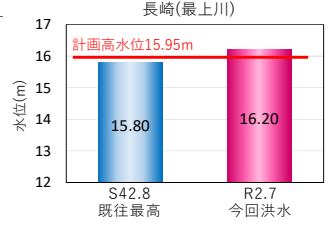
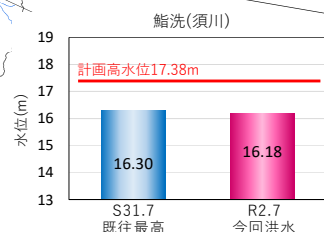
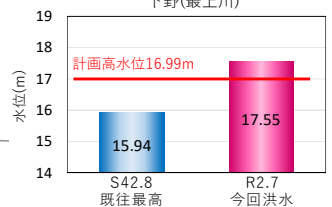
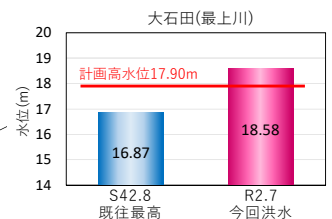
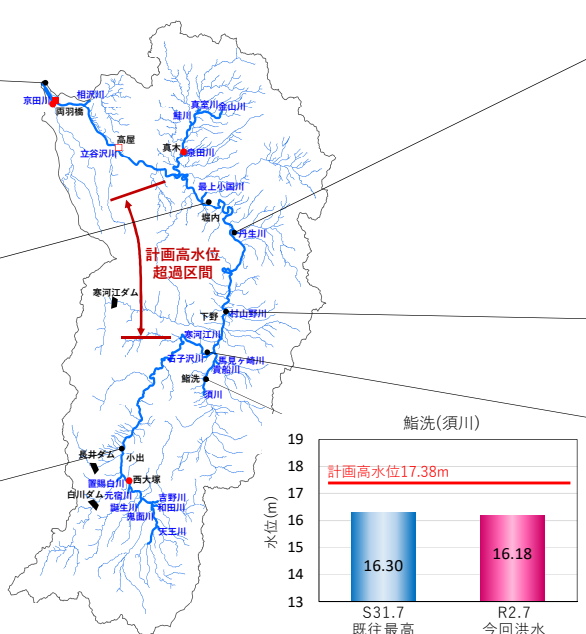
主要な4つの水位観測所で計画高水位を超過し既往最高水位を更新

最上川の主要な4つの水位観測所で計画高水位を超過し既往最高水位を更新。

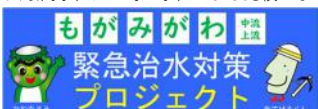
また、長崎(山形県寒河江市・中山町)から堀内(山形県舟形町)までの区間において計画高水位を超過し、堤防が決壊してもおかしくない大変危険な状況となりました。



最上川流域図



※最高水位は正時の水位による比較となっている。 ※今出水に関する数値等は速報値であり、今後変更となることがあります。



最上川流域治水協議会

地域を“みず”から守る
～みんなではじめる「流域治水」～

令和2年7月豪雨



大江町左沢 市の沢川 溢水 農地冠水・家屋浸水

山形県内

避難指示	避難対象世帯	32,833世帯
	避難対象人数	94,120人
避難勧告	避難対象世帯	54,221世帯
	避難対象人数	157,996人
	全壊	1戸
	大規模半壊	7戸
	半壊	55戸
	一部損壊	15戸
	床上浸水	150戸
	床下浸水	549戸

出典：山形県防災くらし安心部
令和2年7月豪雨に係る被災状況について
(令和3年7月26日発表)



山辺町山辺 小鶴沢川 溢水



山形市樫沢 王川内水被害状況



中山町長崎 石子沢川 溢水



山形市長谷堂 本沢川 護岸破損



山形市門伝 富神川 護岸破損



白鷹町滝野 荒砥川 護岸破損



上市市下生居 生居川 護岸破損



舟形町堀内 松橋川 護岸破損

令和2年7月豪雨による被災状況

最上川水系
直轄区間

最上川では、堤防からの越水が4箇所(村山市1箇所、大石田町2箇所、大蔵村1箇所)
溢水が5箇所(新庄市、大石田町、河北町2箇所、大江町)発生しました。

※本情報は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります。



水防・救助活動



山辺町大門 救助活動



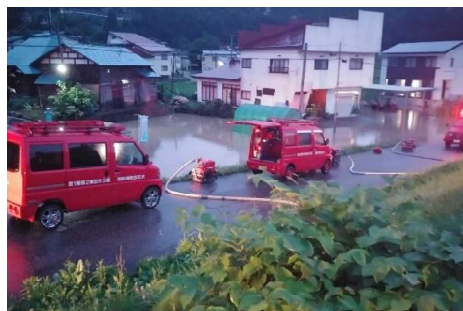
白鷹町十王(上野)積み土糞工



川西町東大塚地区内の浸水被害



川西町洲島 排水作業



大石田町大浦 排水作業



朝日町栄町 助ノ巻川 積み土糞工



最上川流域治水協議会

地域を“みず”から守る
～みんなではじめる「流域治水」～

「流域治水」を担う 3本の柱

最上川流域治水プロジェクトの主な取組事例

これからの治水対策は河川管理者が行う堤防整備やダム建設などの整備(ハードウェア)だけではなく「国・県・市町村・住民や企業が連携・協力」して行う治水対策が必要です。



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

ハード対策



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

ソフト対策



被害対象を減少させるための対策

住まい方の対策

協議会では、「令和2年7月豪雨」を踏まえた流域治水の取組を宣言にまとめました。

最上川流域治水宣言

地域住民の皆さまが安心して生活できる災害に強い安全・安心な社会の実現を目指し、以下の3つを基本方針として取り組むことをここに宣言します。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすため、治水対策や内水氾濫対策、土砂災害対策、雨水貯留対策などを進めます。
- 被害の範囲を減らすため、災害の危険性を考慮した暮らし方とするなど、安全・安心なまちづくりを進めます。
- 被害を軽減するため、ハザードマップの充実や的確な防災情報の発信、国・県・市町村間の連携を密にした広域避難など避難体制の強化を図ります。

長期工程をロードマップで提示

この対策は長期にわたるため、短期／中期／中長期にわけて対策・工程をまとめ、目標達成に向けた道筋を関係者・流域関係者が共有できるようにしています。

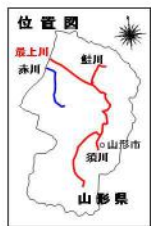
■長期工程ロードマップイメージ(略図)

※実際のロードマップとは異なります。

区分	対策内容	工程		
		短期(R2~R7)	中期(R8~R11)	中長期(R12~)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	R2.7豪雨を踏まえた再度災害防止対策	[Progress bar from R2 to R7]		
	森林整備・治山対策	[Progress bar from R2 to R12]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難確保計画作成、タイムラインの改善、洪水対応演習等の実施	[Progress bar from R2 to R12]		
	河川情報提供の充実	[Progress bar from R2 to R12]		
被害対象を減少させるための対策	土地利用規制・誘導の推進(災害危険区域等)	[Progress bar from R2 to R12]		
	家屋移転、かさ上げ補助制度の創設	[Progress bar from R2 to R12]		

流域治水取組位置図

○令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生した最上川水系では、河川整備に併せ、地域の主産業（農業等）や豪雪地帯などの地域特性を踏まえた農地・農業水利施設の活用や雪対策と連携した高床化などによる対策を組み合わせた流域治水を推進することで、令和2年7月豪雨中上流部で戦後最大>及び昭和44年洪水（低気圧）<下流部で戦後最大>と同規模の洪水に対して、国管理区間での氾濫を防止するとともに流域での浸水被害の軽減を図ります。



凡例
取組完了

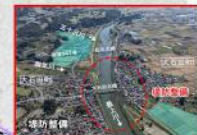


■被害対象を減少させるための対策

- 氾濫域での対策
- ・災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導
 - ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）
 - ・家屋移転、かさ上げ補助制度の創設
 - ・雪対策と連携した氾濫被害の軽減（高床住宅等）

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河川区域での対策
- ・河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良等
- 集水域での対策
- ・砂防堰堤等の整備
 - ・雨水幹線の整備、貯留槽
 - ・利水ダム等25ダムにおける事前放流等の実施
 - ・体制構築（関係者・国、山形県、東北電力等）、土地改良区など
 - ・森林整備・治山対策・水田貯留（田んぼダム）、ため池の保全
 - ・農業用排水機場等の整備
 - ・下水道施設（処理場等）の耐水化



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 氾濫域での対策
- ・水害リスク空白域の解消
 - ・危機管理型水位計の設置
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
 - ・R2.7出水の課題を受けたタイムラインの改善
 - ・流域自治体との洪水対応連携
 - ・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
 - ・メディアと連携による洪水情報の提供
 - ・まるごとまるごとハザードマップの促進
 - ・広域連携による避難体制の強化
 - ・民間企業と連携した避難体制の強化
 - ・市町村庁舎等防災拠点の機能確保
 - ・水防拠点の拡張・増設
 - ・河道掘削土を活用した水防災拠点（兼避難場所）の整備



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※令和4年3月31日公表

流域治水の主な取組

～最上川水系の地域・地形特性を踏まえた対策の方向性～

◆雪対策の多機能化（流出抑制、氾濫軽減）による減災対策

○我が国有数の豪雪地帯であり、除雪作業、道路交通の阻害などにより生活への支障が毎冬発生。R2シーズンのような豪雪、R1シーズンのように少雪といった二極化が見られる中で、雪対策に付加価値を模索しながらの推進が必要。

⇒水害が頻発化・激甚化していることを踏まえ、夏場等に水害対策にも有効な構造とするなど多機能化を図る。

住居の高床式化イメージ

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・雪捨て場を兼ねた雨水貯留施設の整備

②被害対象を減少させるための対策

- ・雪対策における住宅の高床式補助制度の活用による被害の軽減

◆生業を守りながら、農耕地や農業施設を活用した流出抑制対策

○ブランド米つや姫の生産を始めとする米どころであるとともに、全国生産量1位であるさくらんぼ、ラフランスなどの農作物の栽培が盛んな地域。

⇒耕地や農業施設を活用し、雨水の流出抑制対策を図る、また、農機具等の一時避難場所の整備等により、生業を守る。

山形県庄内地方の田んぼダムの取組状況

▲令和元年東日本台風時に水防災拠点を農機具等の一時的な避難場所として利用（宮城県吉田川の事例）

- ・田んぼダムの取り組みの推進
- ・ため池等、農業用施設を活用した流出抑制
- ・農機具等の一時避難場所の整備

◆地形特性を踏まえた浸水被害軽減対策

○最上川は、狭窄部と盆地を交互に繰り返す地形が特徴。

⇒狭窄部上流の沿川市街地では、狭窄部の影響により、度々甚大な洪水被害が発生。この地形特性に起因した水害リスクを踏まえ、浸水被害を軽減するための対策を図る。

▲最上川の地形特性（狭窄部は水が流れにいため、上流側で氾濫）

・浸水被害住宅移転補助金

・浸水被害住宅かさ上げ等リフォーム補助金により、移転・嵩上げ

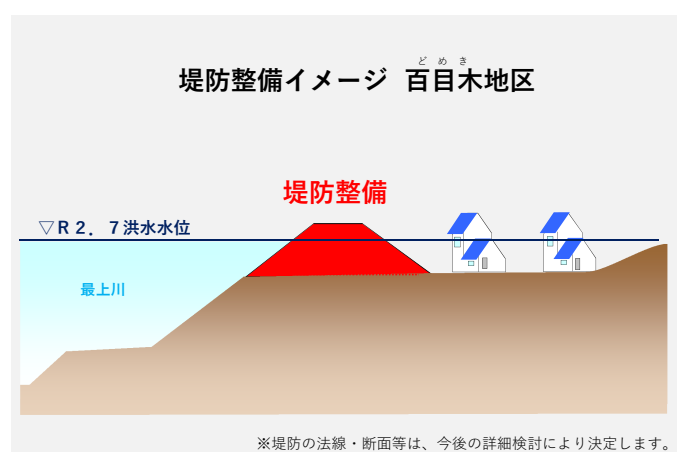
- ・狭窄部での分水路整備、遊水地改良等の水位低下対策
- ・水害リスクを考慮した立地適正化計画の見直し
- ・家屋移転等への補助制度の創設
- ・高台等への避難場所の整備・確保

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【河川区域での対策】

下流区間の河川水位を低減させるため「大久保遊水地(既設)の改良」を実施



河川からの氾濫を防止する「堤防整備」を実施

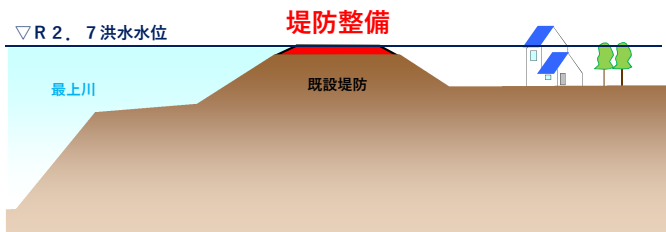


氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【河川区域での対策】

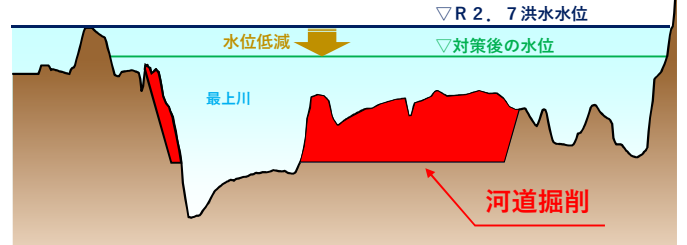
河川からの氾濫を防止する「堤防整備」
河川の水位を低下させる「河道掘削」を実施



堤防整備イメージ 白須賀地区



河道掘削イメージ

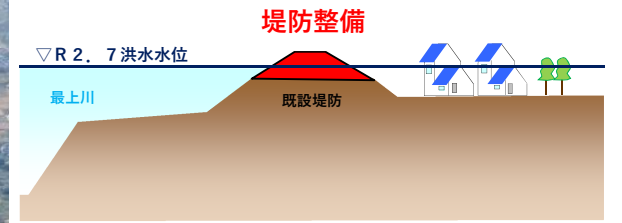


※堤防の法線・断面等は、今後の詳細検討により決定します。

河川からの氾濫を防止する「堤防整備」
洪水流下のネック箇所における「分水路整備」を実施



堤防整備イメージ



※堤防や分水路の法線・断面等は、今後の詳細検討により決定します。

令和2年7月豪雨から2年



大江町百目木地区

大江町

<避難勧告>
 避難対象世帯 95世帯
 避難対象人数 246人
 半壊 3棟
 一部損壊 3棟
 床上浸水 17棟
 床下浸水 13棟
 出典：山形県防災くらし安心部
 令和2年7月豪雨に係る被害状況について
 (令和3年7月26日発表)

流域治水の推進に向けて

令和2年7月発生 of 豪雨により、家屋の浸水や土砂崩れ、農地の冠水など、被災されました町民の方々に、心よりお見舞い申し上げます。
 災害発生時には住民の皆さんから早めの避難行動をとっていただいたことや区長さんの適切な指示、ご近所の方々の助け合い、消防団員の迅速な活動により、人的被害がなかったことは不幸中の幸いでありました。その一方で家屋や農地、道路などは甚大な被害を受けました。被害状況は大江町史上最大の水害と言われる昭和42年の羽越水害に匹敵する規模となりました。今後はこの度の豪雨災害を教訓にして、住民と行政、関係者が一体となり流域全体で行う「流域治水」を進めて参ります。



大江町長 松田 清隆



百目木地区 救助作業

大江町 流域治水の取組

「令和2年7月豪雨災害を教訓に」

- 国1** 浸水被害
- 国2** 冠水被害
- 国3** 土砂崩壊
- 国4** 農用排水設備整備
- 国5** 河川改修整備
- 国6** 排水設備(防壊)の耐水化の検討

国1 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導

国2 冠水被害防止

国3 農用排水設備整備

国4 河川改修整備

国5 排水設備(防壊)の耐水化の検討

市1 災害特種警備伝達手段の検討と実装

市2 住民参加型による防災訓練等の実施

市3 内水ハザードマップの作成、周知

市4 複合的なハザードマップの作成、周知、見直し

市5 防災減災事業によるため池耐震化工事(営農事業)

ソフト対策

- 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成
- 及び居住誘導
- 校出入りの課題を受けたタイムラインの改善
- 流域自治体との治水対応連携
- 水害リスク自治体のF解済

国 県

- 簡易型河川監視カメラ
- 危険管理型水位計
- 水位計(従来整備)

国 県

- 河川監視カメラ(従来整備)
- 水位計(従来整備)

国 県

- 簡易型河川監視カメラ
- 危険管理型水位計
- 水位計(従来整備)

国 県

- 河川監視カメラ(従来整備)
- 水位計(従来整備)

国 県

- 簡易型河川監視カメラ
- 危険管理型水位計
- 水位計(従来整備)

国 県

- 河川監視カメラ(従来整備)
- 水位計(従来整備)

令和2年7月豪雨から2年



須川合流点付近

中山町



<避難指示>
 避難対象世帯 3,718世帯
 避難対象人数 11,096人
 床上浸水 17棟
 床下浸水 122棟

出典：山形県防災くらし安心部
 令和2年7月豪雨に係る被害状況について
 (令和3年7月26日発表)



あおば地区 浸水状況

流域治水の推進に向けて

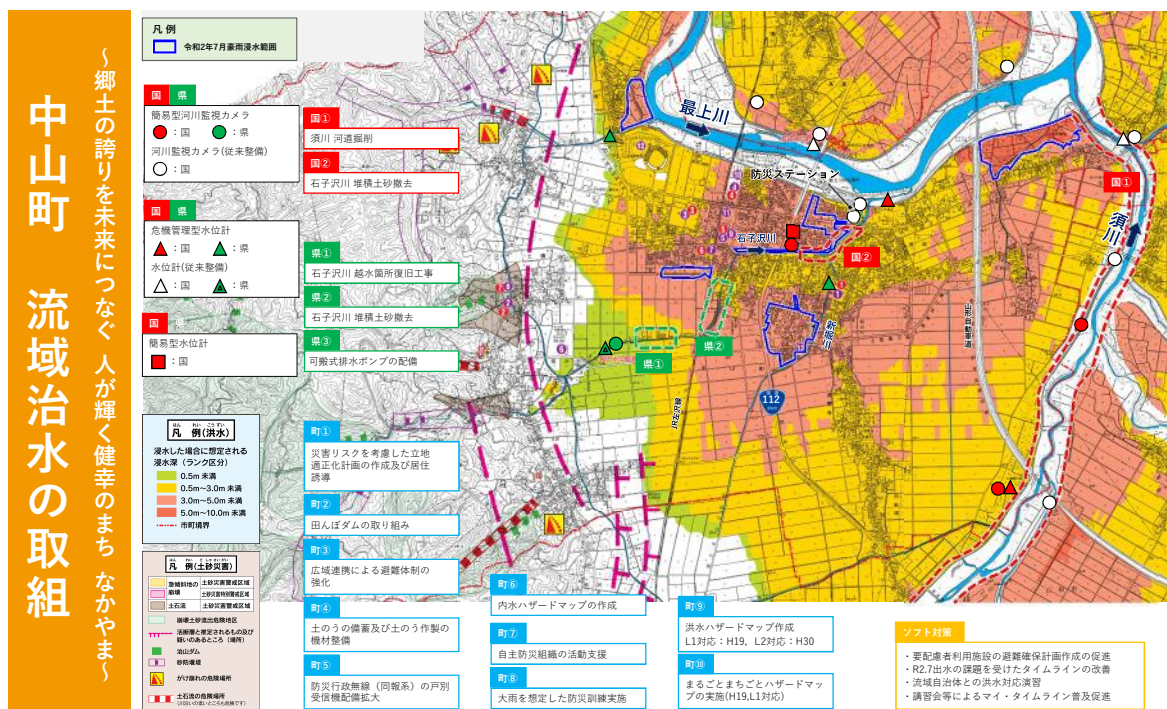
令和2年7月豪雨において、最上川長崎水位観測所では、堤防の計画高水位を超える過去最高水位を観測し、支川の石子沢川、新堀川を中心に100戸を超える住宅の床上・床下浸水等大規模な内水氾濫が発生しました。

町はこれまで災害時要援護者等への戸別受信機の配付、要配慮者利用施設避難確保計画作成講習会、田んぼダムの拡大などに取り組んできております。

今後、さらに雨水浸透施設の推進、マイタイムライン作成講習会、垂直緊急避難施設及び広域連携による避難体制の確保など国・県と連携しながら、流域全体で防災・減災対策に取り組んでまいります。



中山町長 佐藤 俊晴



令和2年7月豪雨から2年



東根市岡嶋地区 白水川

東根市



<避難勧告>

避難対象世帯	2,876世帯
避難対象人数	8,833人
床上浸水	4棟
床下浸水	23棟

出典：山形県防災くらし安心部
令和2年7月豪雨に係る被害状況について
(令和3年7月26日発表)

流域治水の推進に向けて

東根市では、令和2年7月の豪雨災害により白水川堤防が決壊し、住宅の浸水や道路、田畑が冠水するなど甚大な被害を受けました。

これを教訓にして、市民の生命を守り、防災意識を高める防災拠点施設である「東根市西部防災センター」の建設や、地域の自主防災組織や小学校などとともに避難訓練や水害に関する研修会、また、各地区防災計画の策定に向けた取り組みをしております。

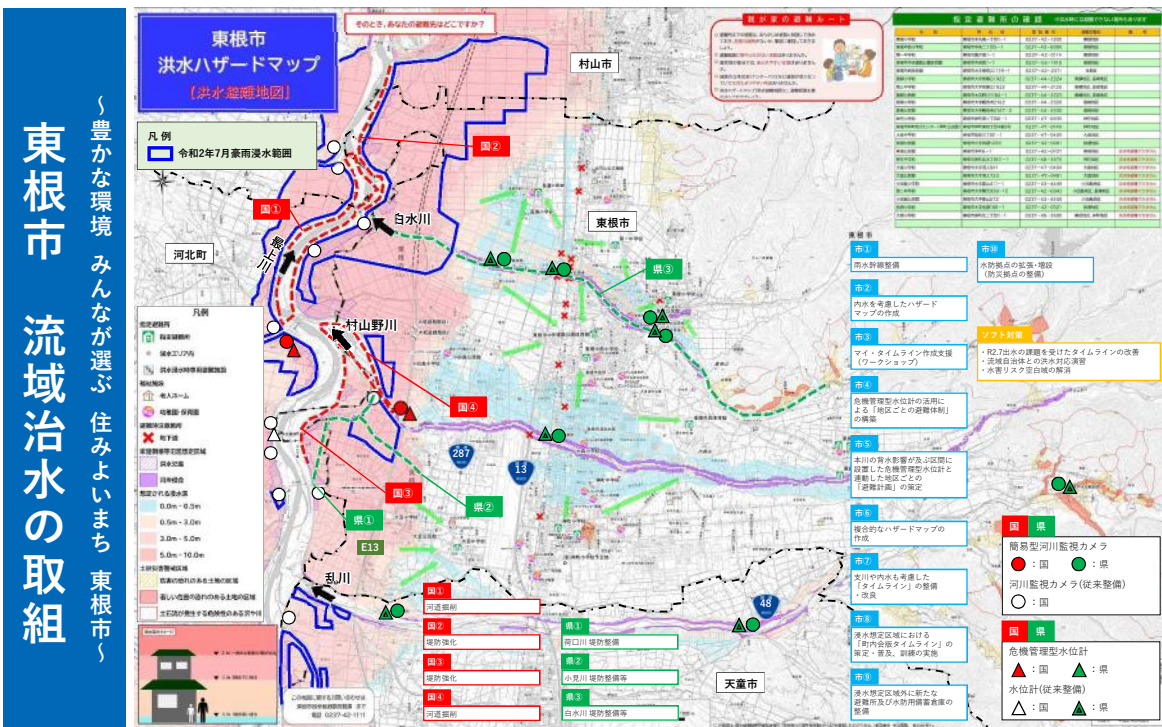
今後、気象変動による水災害リスクの増大に備える必要があります。国・県などと連携し、地域住民の皆様にご協力いただきながら、あらゆる関係者が一体となり流域全体で行う「流域治水」を進めて参ります。



東根市長
土田 正剛



岡嶋地区の浸水被害



東根市 流域治水の取組

豊かな環境 みんなが選ぶ 住みよいまち 東根市



最上川流域治水協議会

地域を“みず”から守る
～みんなではじめる「流域治水」～

令和2年7月豪雨から2年



村山市 大久保遊水地

村山市

<避難指示>
 避難対象世帯 8,117世帯
 避難対象人数 23,372人
 大規模半壊 2棟
 半壊 11棟
 一部破損 1棟
 床上浸水 31棟
 床下浸水 25棟

出典：山形県防災くらし安心部
 令和2年7月豪雨に係る被害状況について
 (令和3年7月26日発表)

流域治水の推進に向けて

令和2年7月豪雨により住家や事業所、農地などが浸水被害に遭い、これまで経験したことのない甚大な被害を受けました。

当市では新たに防災専門員を配置し、地域防災計画の見直しや避難所の各種整備、アプリを活用した防災情報の発信など、防災対策の強化を図ってまいりました。

近年、気候変動による大規模災害が頻発しており、市単独の対策だけではこれからの災害に立ち向かうことは出来ません。市民の皆様が安心して生活できるよう、流域のあらゆる関係者が連携して災害に備えることが重要であり、流域全体で行う「流域治水」に全力で取り組んでまいります。

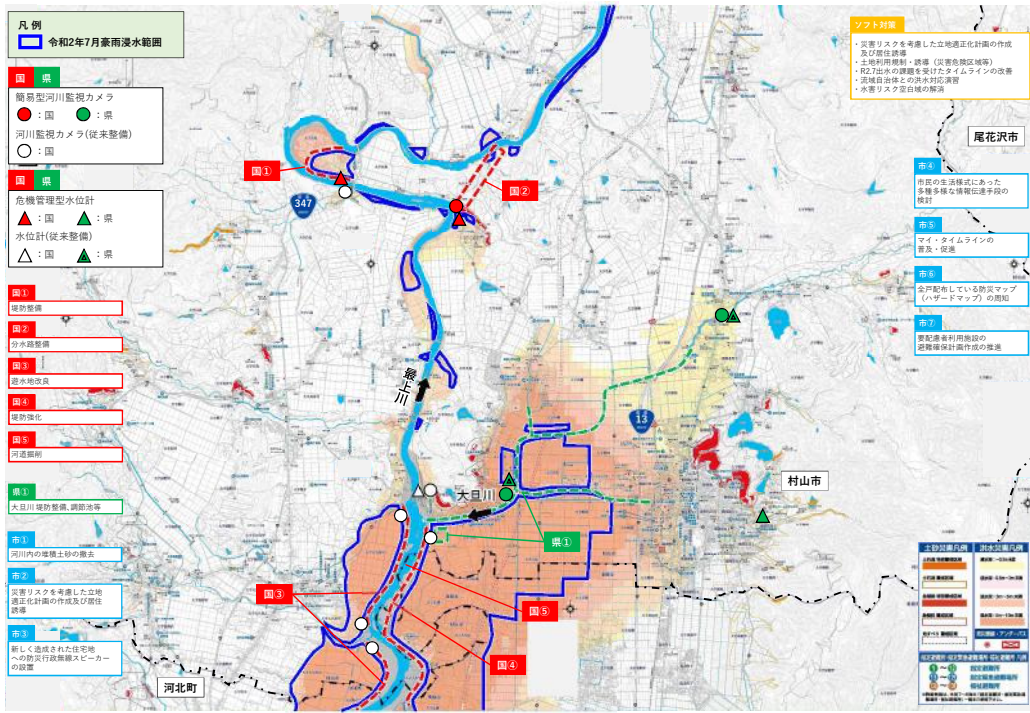


村山市長
志布隆夫



河北地区 道路冠水

安心して住める、災害のないまちを目指して
村山市 流域治水の取組



最上川流域治水協議会

地域を“みず”から守る
 ~みんなではじめる「流域治水」~

令和2年7月豪雨から2年



大石田町 市街地

大石田町



<避難指示>

避難対象世帯	1,028世帯
避難対象人数	3,074人
大規模半壊	1棟
半壊	1棟
床上浸水	19棟
床下浸水	77棟

出典：山形県防災くらし安心部
令和2年7月豪雨に係る被害状況について
(令和3年7月26日発表)



町内浸水被害

流域治水の推進に向けて

令和2年7月の降り続く豪雨により、これまで経験の無い大規模な災害が発生しました。当町においても、最上川大石田観測所観測史上最高水位18m59cmを記録し、住宅浸水98軒、土砂崩れや農作物など多くの被害が発生しました。町では、防災情報伝達の多重化による機能強化やハザードマップの更新などを行い、地区では、自主防災組織による防災訓練による防災意識の啓発などにより、町全体の防災強化を行ってまいりました。

今後、気象変動による水災害リスクの増大に備える必要があります。国・県・町等、また、町民の皆様にご協力いただきながら、あらゆる関係者が一体となり流域全体で行う「流域治水」を進めて参ります。



大石田町長
村岡 藤弥

大石田町

「町の生命と財産を守る」

流域治水の取組

町① 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び耐性確保	町⑥ マイ・タイムライン作成支援	町⑩ 下水道施設の耐震化・老朽化対策事業
町② 地域防災計画更新	町⑦ 情報一斉配信システム整備	町⑪ 農業集排水施設の耐震化・老朽化対策事業
町③ 各種防災関係マニュアル整備	町⑧ 自主防災組織支援	町⑫ 多面的機能支払交付金事業
町④ 防災マップ更新	町⑨ 防災訓練の実施	町⑬ 中山間地域等集排水交付金事業
町⑤ 防災放送システム検討	町⑩ 内水処理施設整備事業	



最上川流域治水協議会

地域を“みず”から守る
～みんなではじめる「流域治水」～

令和2年7月豪雨から2年



尾花沢市毒沢 猿羽根大橋付近

尾花沢市

<避難勧告>

避難対象世帯	28世帯
避難対象人数	676人
床上浸水	2棟
床下浸水	2棟

出典：山形県防災くらし安心部
令和2年7月豪雨に係る被害状況について
(令和3年7月26日発表)

流域治水の推進に向けて

令和2年7月の豪雨において、本市でも豊田水源場の冠水被害により市内の広範囲で断水となり、農地や揚水機場の水没、住宅の浸水被害など、甚大な被害が発生しました。

この豪雨災害を教訓として、防災行政無線の機能強化や戸別受信機の貸与など災害時の情報伝達手段の充実や、また地域の自主防災会に対し、ハザードマップを活用した防災出前講座の開催、防災資機材の購入や防災訓練等の実施を支援するなど、地域住民の防災意識の高揚を図り、防災体制を強化してまいりました。

今後とも、国・県・市等の関係機関が互いに連携し、一丸となって流域全体で行う「流域治水」を進めることで、水災害に備えてまいります。



尾花沢市長
菅根 光雄



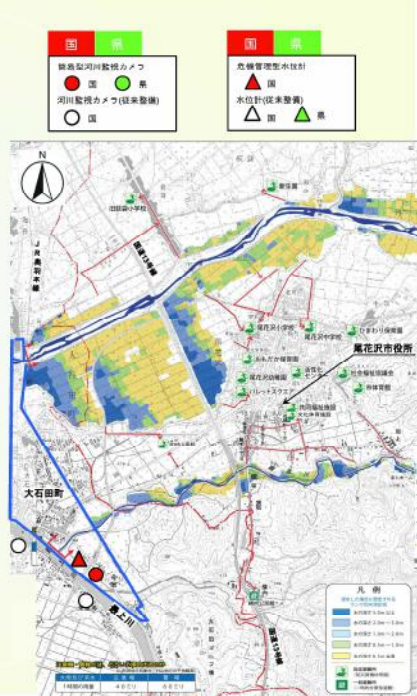
名木沢地区の浸水

尾花沢市 流域治水の取組

「このまちでもともに生きる しあわせな時を刻むまち尾花沢」

凡例 令和2年7月豪雨浸水範囲

- 市1** 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び緑性誘導
- 市2** 集落ごとに防災出前講座を開催し、災害時の高齢者・障害者等への避難誘導の強化を図る
- 市3** 災害時要援護者の個別計画を策定し、災害時の高齢者・障害者等の避難誘導を図る
- 市4** 避難所における防災資料、非常食などの備蓄品の充実を図り、安全な避難所づくり・運営づくりを進める
- 市5** 災害対応団に加練を実施し、県・関係機関等の連携による総合的な防災体制の強化を図る
- 市6** 自主防災組織代表者宅や災害危険区域エリア内の世帯へ防災行政無線個別受信機を貸与し、備蓄在庫の強化を図る
- 市7** 町会・NIE等のNIE委組織により、自主防災組織における防災資機材の購入や防災訓練等の実施を支援し、自主防災組織の強化を図る



令和2年7月豪雨から2年



舟形町堀内地区 堀内橋

舟形町



< 避難指示 >

避難対象世帯	20世帯
避難対象人数	36人
全壊	1棟
大規模半壊	1棟
床下浸水	2棟

出典：山形県防災くらし安心部
令和2年7月豪雨に係る被害状況について
(令和3年7月26日発表)



太折地区住宅浸水状況

流域治水の推進に向けて

令和2年7月の豪雨災害を教訓にして、最上川流域の地区内に「想定浸水深標識」を設置し、町民の防災意識の向上を図りました。また、町民や地域における防災・減災対策を促進するため、災害に強いまちづくりを目指し、舟形町防災ハザードマップを作成し、全戸に配布しました。さらに、排水ポンプや投光器の整備など防災装備を強化しました。

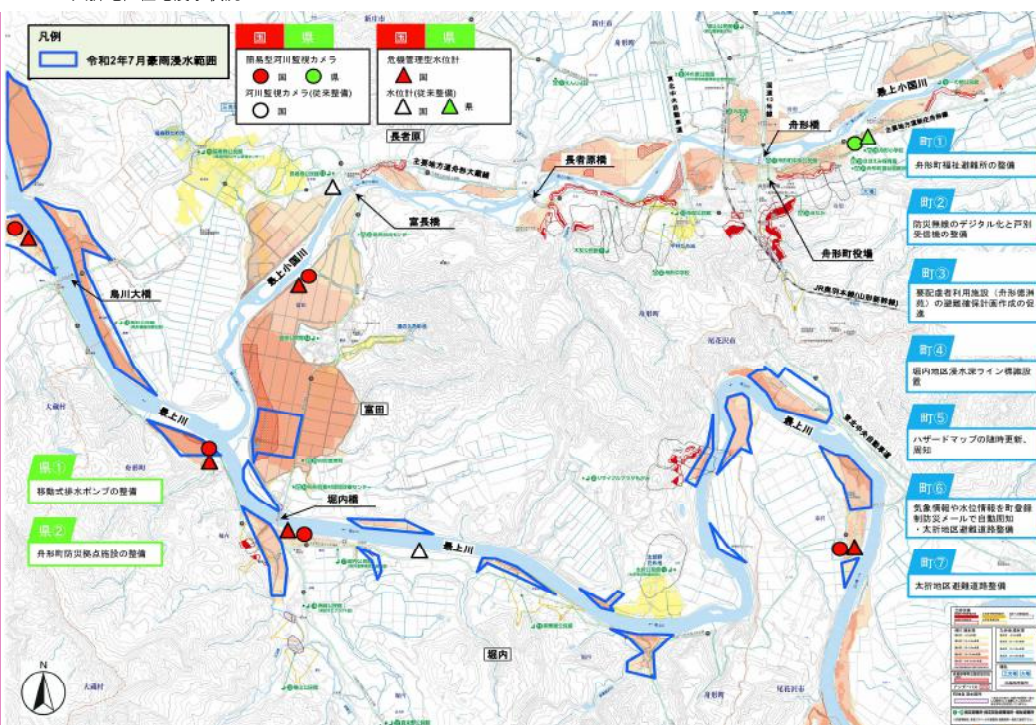
今後とも引き続き、国・県等、また、町民の皆様にご協力いただきながら、町民の皆様が安心して暮らせる安全なまちづくりを目指して、流域全体で行う「流域治水」を推進していきます。



舟形町長 森 富広

舟形町 流域治水の取組

「住んでいる人が誇れるまちづくり 舟形町」



最上川流域治水協議会

地域を“みず”から守る
～みんなではじめる「流域治水」～

令和2年7月豪雨から2年



新庄市本合海地区

新庄市



<避難指示>

避難対象世帯	158世帯
避難対象人数	442人
半壊	4棟
一部破損	6棟
床下浸水	5棟

出典：山形県防災くらし安心部
令和2年7月豪雨に係る被害状況について
(令和3年7月26日発表)



新庄市本合海地区の浸水被害

流域治水の推進に向けて

令和2年7月の豪雨では、最上川の氾濫により、本合海、畑地区において浸水が発生し、家屋浸水や、水稲冠水など甚大な被害を被ったところで。

この豪雨災害の対策として、畑地区の家屋移転に伴う市道整備や、農地の囲場整備事業、本合海地区における内水排水ポンプ整備、水道施設の緊急連絡管整備など多岐にわたる対策を講じているところです。頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対し、水防団や自主防災組織の機能強化や、様々な通信手段による災害情報伝達などの防災・減災対策を行い、集水域から氾濫域にわたる流域の関係機関や地域住民が一体となって水災害対策を進めてまいります。



新庄市長
山尾 順紀

新庄市
流域治水の取組

住みよさをかたちに 安全・安心で美しいまち

凡例

- 令和2年7月豪雨浸水範囲
- 増設型河川監視カメラ (● 畑 ● 本)
- 河川監視カメラ(従来設置) (○ 国)
- 危険管理型水位計 (▲ 畑 ▲ 本)
- 水位計(従来設置) (△ 畑 △ 本)

国① 田んぼダムの取組への支援

市① 雨水貯留整備

市② 自主防災組織、町内会に対するマイ・タイムライン作成支援

市③ ため池ハザードマップの作成

新庄市ハザードマップ (令和2年7月)

バックホウによる畦畔の高上げ

令和2年7月豪雨から2年



大蔵村白須賀地区

大蔵村



<避難指示>
 避難対象世帯 452世帯
 避難対象人数 1,414人
 半壊 9棟
 床下浸水 31棟
 出典：山形県防災くらし安心部
 令和2年7月豪雨に係る被害状況について
 (令和3年7月26日発表)



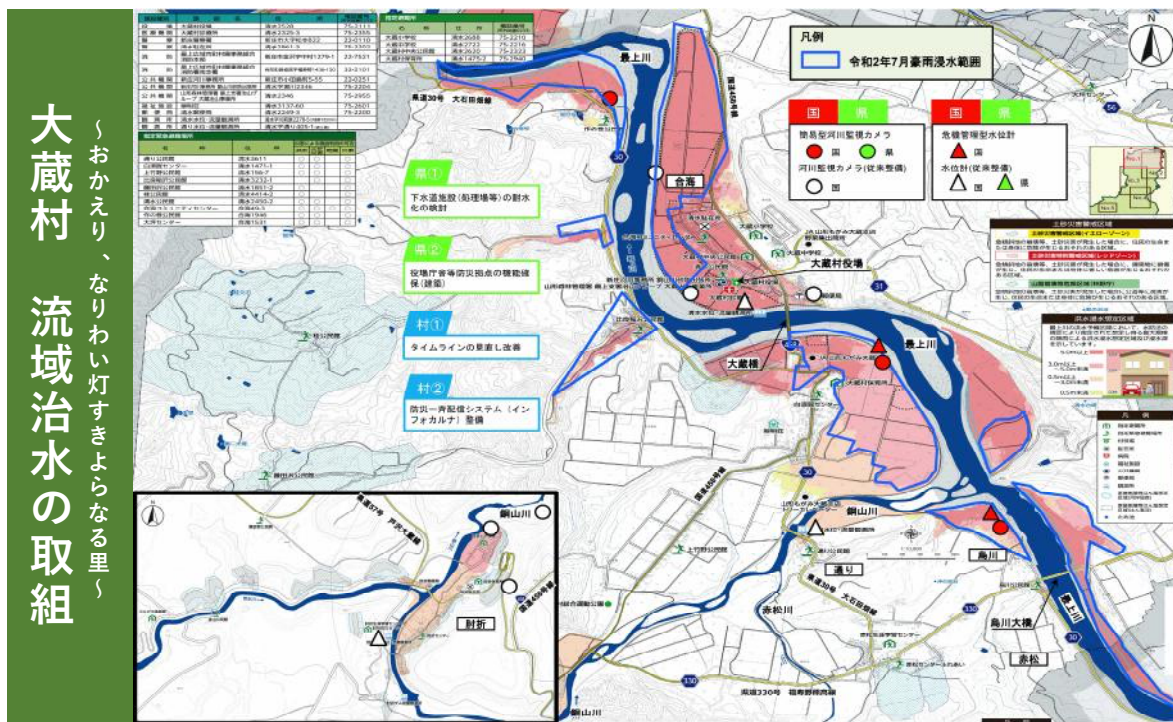
銅山川脇の村道被害

流域治水の推進に向けて

清らかな水に恵まれ山里の美しい風景を保つ大蔵村。令和2年7月の豪雨では、大規模な浸水により山里の美しい風景が甚大な被害を受けました。この災害を教訓として、村民の防災意識が高揚しており、村としても避難情報などを迅速に、そして正確に伝達するため全世帯にタブレットを配布しております。音声とともに文字での情報伝達できるシステムを構築し、人的被害を発生させない防災力の強化に取り組んで参りました。本村は度重なる浸水被害に悩まされ、治水の重要性を認識しております。今後、気象変動による水災害のリスク増大への備えとして、国や県、そして村民など関係者が一体となって流域治水を推進して参ります。



大蔵村長 加藤 正美



大蔵村
 流域治水の取組
 『おかえり、なりわい灯すきよらなる里』



最上川流域治水協議会

地域を“みず”から守る
 ~みんなではじめる「流域治水」~

令和2年7月豪雨から2年



戸沢村皿島地区

戸沢村



＜避難指示＞	
避難対象世帯	699世帯
避難対象人数	1,622人
床上浸水	1棟
床下浸水	6棟

出典：山形県防災くらし安心部
令和2年7月豪雨に係る被害状況について
(令和3年7月26日発表)



蔵岡地区 内水排除作業

流域治水の推進に向けて

平成30年8月に月2回の豪雨災害。令和2年7月の豪雨に於いては、これまで経験の無い降雨に伴う浸水が発生し、甚大な被害が発生しました。これらことから、特に浸水被害が発生するリスクが高い蔵岡集落に対し、国・県事業で地域を浸水より守るべく輪中堤工事等が行われています。また、最上川に接する金打坊集落は無堤防地区であり、洪水への備えが重要となっています。

戸沢村は過去の歴史からも洪水との闘いが常であり、それらを踏まえ防災無線のデジタル化や個別受信機の全戸設置、ハザードマップの作成等、災害時の情報伝達を充実するとともに、自主防災会が行う防災訓練への支援を行ってまいりました。

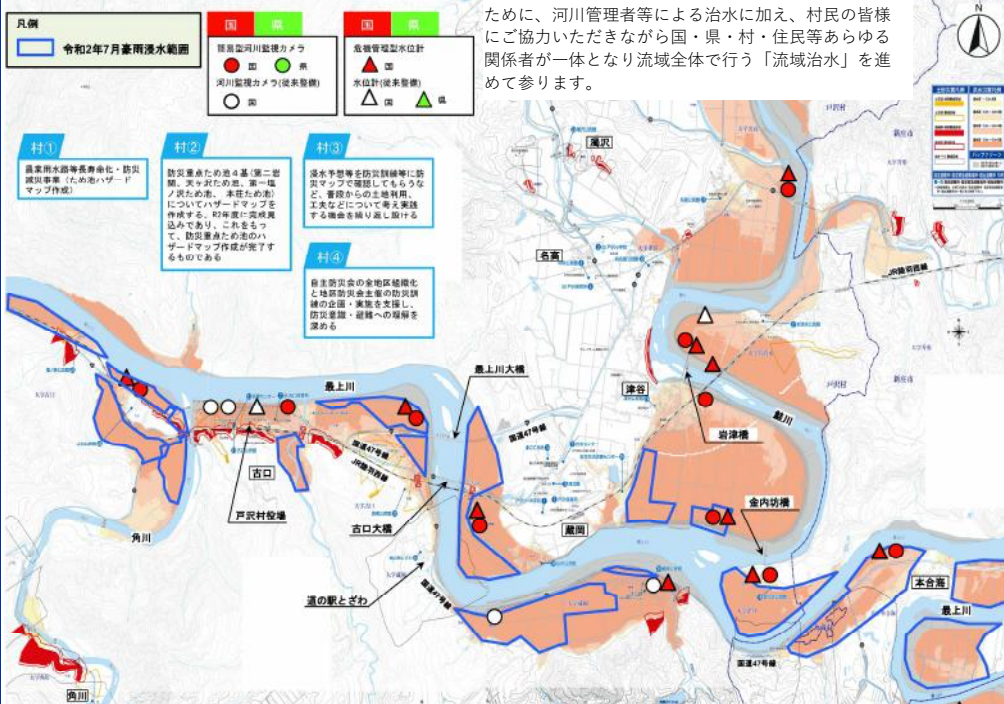
今後、気象変動による水災害リスクの増大に備えるために、河川管理者等による治水に加え、村民の皆様にご協力いただきながら国・県・村・住民等あらゆる関係者が一体となり流域全体で行う「流域治水」を進めて参ります。



戸沢村長 渡部 秀勝

戸沢村 流域治水の取組

「最上川・笑顔・いきいき 夢あふれる故郷(ふるさと)戸沢村」



最上川流域治水協議会

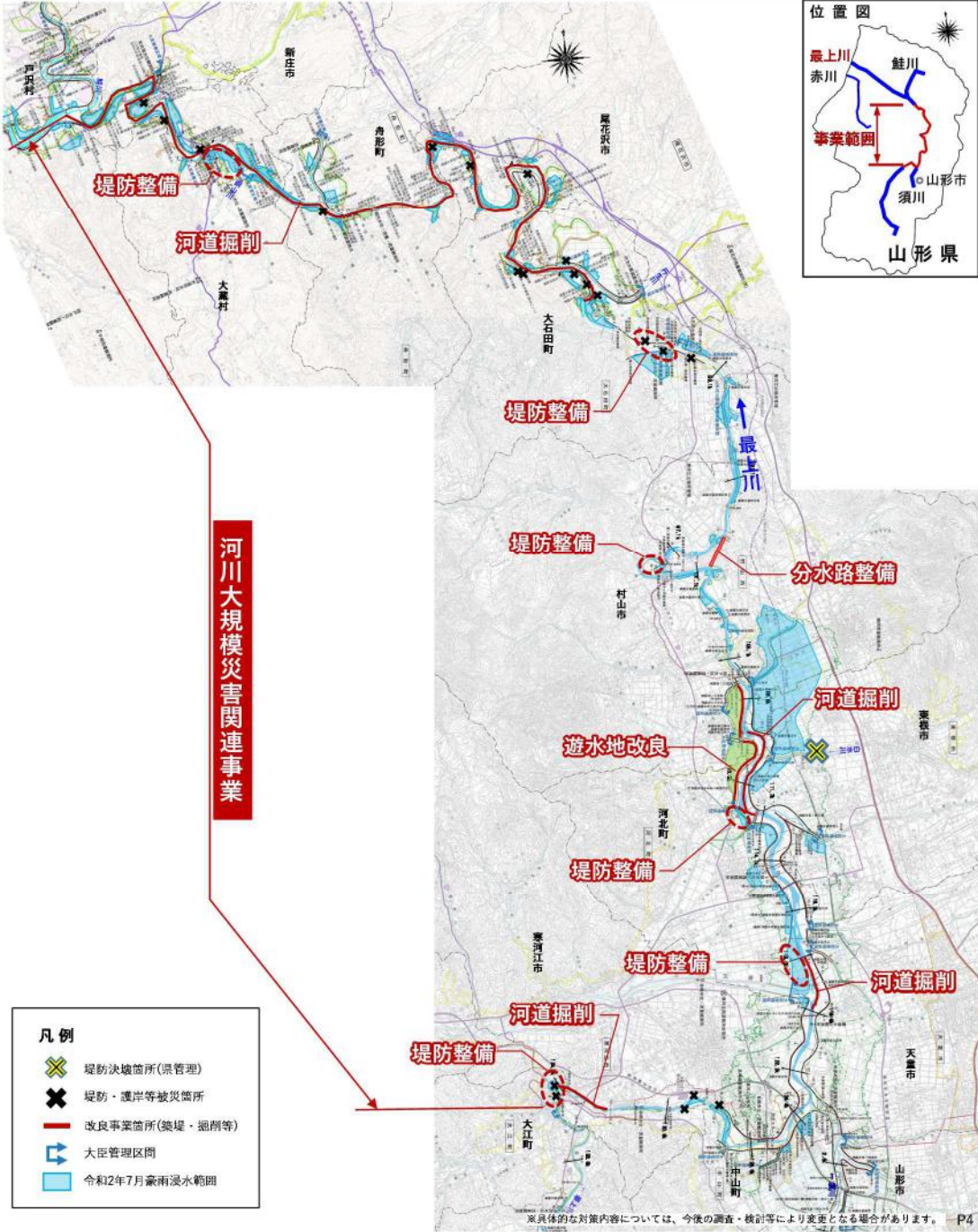
地域を“みず”から守る
～みんなではじめる「流域治水」～

河川大規模災害関連事業

事業内容：河道掘削 約90万m³，堤防整備 約8km
遊水地改良 1箇所，分水路整備 1箇所
事業期間：令和2年度～令和11年度

災害復旧

事業内容：漏水対策 14箇所，護岸工 11箇所
事業期間：令和2年度～令和3年度
※河川大規模災害関連事業と一体となって実施



河川大規模災害関連事業

(山形河川国道事務所・新庄河川事務所)

令和2年7月豪雨を踏まえ 災害復旧事業

村山市長島地区 堤防整備状況



河北町谷地地区 河道掘削状況



大蔵村白須賀地区 堤防整備完了



堤防整備工事

(山形河川国道事務所)

村山市長島地区



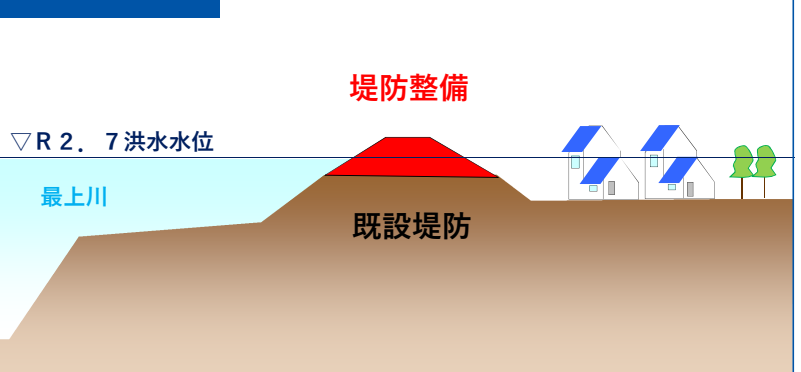
河川の越水による浸水被害を防ぐため 堤防整備(嵩上げ)を実施



堤防整備(嵩上げ)完了後の状況



整備イメージ



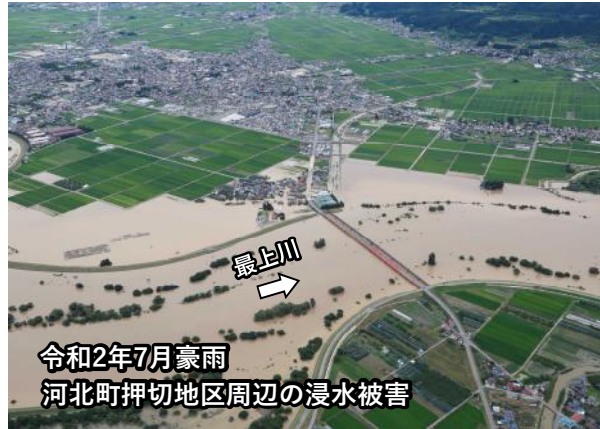
河道掘削工事

(山形河川国道事務所)

河北町谷地地区



令和2年7月豪雨
河北町溝延地区周辺の浸水被害



令和2年7月豪雨
河北町押切地区周辺の浸水被害

河川水位を低下させ、浸水被害を防ぐため「河道掘削」を実施

河道掘削前の状況



令和3年5月撮影



河道掘削後の状況

最上川

令和3年11月撮影

河道掘削の状況



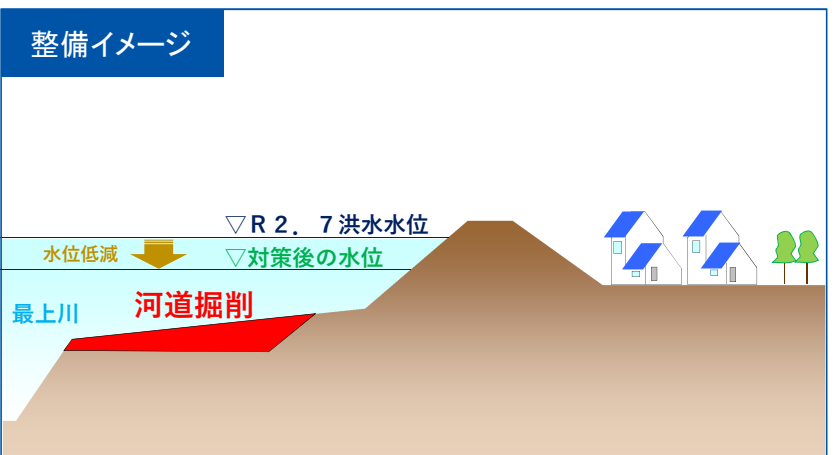
令和3年9月撮影

掘削土の土質改良



令和3年10月撮影

整備イメージ



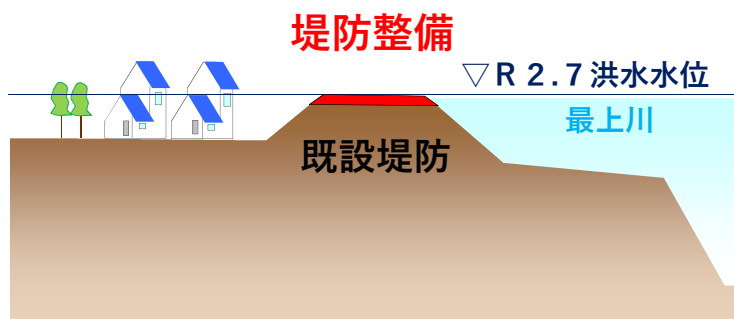
堤防整備工事

(新庄河川事務所)

大蔵村白須賀地区



堤防整備イメージ



自治体との事業調整会議 (大蔵村)



「堤防整備（嵩上げ）」を実施

堤防整備（堤防嵩上げ）施工中



堤防整備（堤防嵩上げ）施工完了 令和4年3月 完成



白水川堤防整備工事(山形県)

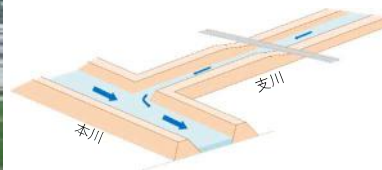
令和2年7月豪雨の浸水被害



バックウォーター現象

通常時

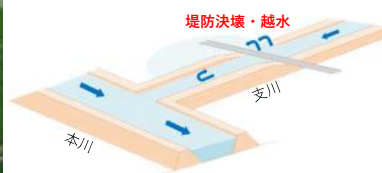
・支川からの水は本川に合流



増水時

・本川の水位が上昇し、本川に支川の水が流れにくくなり、支川の水位が上昇

・水が滞留しさらに水位上昇



最上川のバックウォーターの影響による浸水被害を防ぐため 堤防整備(嵩上げ)を実施

堤防整備(嵩上げ)工事



令和3年7月撮影

堤防整備(嵩上げ)完了後の状況



令和3年10月撮影

整備イメージ

▽R2.7洪水水位
(最上川のバックウォーター)

白水川

堤防整備

堤防を最上川本川と
同じ高さに嵩上げ



もがみがわ 中流上流

緊急治水対策
プロジェクト



最上川流域治水協議会

地域を“みず”から守る
～みんなではじめる「流域治水」～

洪水被害を風化させない取組

特設webサイト開設

緊急治水対策プロジェクトの内容や取組状況を紹介しています。令和2年7月豪雨からの復旧状況も確認できます。

当webサイトへのQRコードです。緊急治水対策プロジェクトの内容や令和2年7月豪雨の降雨情報や被災状況が詳しくわかります



小学生向け防災講座

自分たちが住む地域の水害の可能性や、洪水への事前の備えや避難の重要性についての防災授業を展開中です。河北町溝延小学校では、洪水ハザードマップによる浸水深や洪水範囲の確認、道具を使用し、水の重さや抵抗力を体験していただきました。

防災講座の申し込みはこちらのQRコードから



河北町溝延小学校で行われた防災講座



氾濫箇所を歩く際に、足にかかる負荷を疑似体験

まるごとまちごとハザードマップ痕跡表示

令和2年7月豪雨で被災した大江町百目木地区・河北町押切地区・田井地区等では当時の浸水深を示した痕跡看板を町内に設置する取組を行っています。



大江町に設置された痕跡看板



河北町での痕跡看板設置の様子



中山町での痕跡看板設置の様子

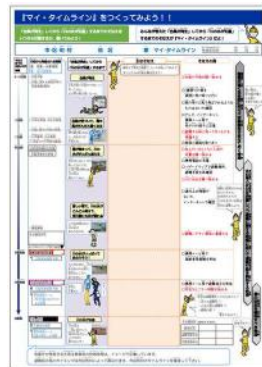
マイタイムライン講習会

河北町押切地区等で講習会を開催し、自ら命を守るための避難行動計画を作成する重要性について確認していただきました。



講習会の様子

マイタイムライン作成ガイドや登録した地点の浸水シミュレーションを見ることが出来るサイトです。



マイタイムライン作成例

かわとぴあ

日本一の芋煮会などのイベント開催とあわせて、河川事業、ダム事業の役割や水防災の啓発活動（降雨体験など）を目的に実施しています。



時間200mmの降雨を体験

みんなではじめる「流域治水」

～一人一人ができること～

マイ・タイムラインを活用した避難の準備

マイ・タイムラインを作ろう！



備えまでの時間	行政からの情報	台風が発生して川の水が氾濫するまで	主な備え
3日前	台風予報		
2日前	大雨注意報 洪水注意報	台風が発生	今後の台風を調べ始める
	大雨警報 洪水警報	台風が近づいて、雨や風が だんだん強くなる	避難する時に持っていく物を準備
1日前	氾濫注意水位到達		
半日前	氾濫注意情報 発表	<ul style="list-style-type: none"> 雨が集まって、川の水が だんだん増える 川の水がいっぱいであふれそう →安全なところへ逃げよう！ 	<ul style="list-style-type: none"> 住んでいる所と上流の雨量を調べる 川の水位を調べ始める 避難しやすい服装に着替える
	避難判断水位到達		
5時間前	氾濫警戒情報 発表		安全な所へ移動を始める
	氾濫危険水位到達		
3時間前	氾濫危険情報 発表		
	氾濫が発生		
0時間前	氾濫発生情報 発表	川の水が氾濫	避難完了

赤:気象・水象情報 青:河川管理者

チェック
学校や家庭等で
作成しよう！

水害に備えて、行動を起こす！

防災サイトを一通り見られる「防災ポータル」の活用

日頃から知ってほしい情報

- 被害想定
- 身の守り方
- 路線情報
- 私たちの取り組み

旅のお供！お役立ち情報

- 観光情報
- 路線情報



関係機関の
情報提供ツールを
一元化

災害時、見てほしい情報

- 被害状況
- 気象状況
- 逃げるための情報
- 交通・物流情報
- 被災者支援情報
- 安否情報
- ライフライン情報
- 地域の情報

様々な災害に対応



様々な言語に対応 ※順次対応予定



チェック
防災ポータルを
活用しよう！



防災ポータル

防災情報 お役立ちサイト

流域治水を
詳しく知る



マイ・タイムライン
を作成する



雨・川の
水位を知る



最上川流域治水協議会

地域を“みず”から守る
～みんなではじめる「流域治水」～